

第1回 公共図書館における
デジタルアーカイブ推進会議



上田図書館の取り組みについて

平成22年2月18日



上田市立上田図書館
兼 丸子金子図書館
館長 坪田 秀彦
(前上田情報ライブラリー館長)
(司書教諭)




千本桜ライトアップ
H21 観光客38万人

上田市の紹介

- ◆ 3町村と合併して人口16万人の市に
- ◆ 長野県の東、美ヶ原～菅高原 552km²
- ◆ 市の中央を千曲川が流れる
- ◆ 信濃国分寺(奈良時代の国府)
- ◆ 信州の鎌倉、別所温泉
 - 枕草子に湯はななくり(七苦難)の湯、有馬の湯、玉造の湯...
- ◆ 蚕都(明治・大正)
 - 全国有数の蠶種の生産地
- ◆ 長野冬季五輪に奇祭「岳の幟」が出演
- ◆ 上田城 大阪城と友好城郭
 - 天正11年(1,583)真田昌幸が築城
 - 徳川の大軍を二度にわたって退ける
- ◆ 真田幸村/猿飛佐助 ... 首立川文庫、今歴史で人気
 - 真田、日本(ひのもと)の兵(つわもの)
 - NHK真田太平記、サマーウォーズ


無言館
(戦没園学生の館)




長野五輪閉会式

上田図書館等の歴史～


- ◆ 大正2年 上田男子尋常小学校同窓会が「明治記念館」を建設し、一般の集会和図書の開読の場に提供
その後市が譲受
- ◆ 大正12年 市立図書館として「上田図書館」が開館
- ◆ 昭和26年 「点字図書館部」を設置
- ◆ 昭和45年 旧桑谷丘高等学校跡地に移転開館
- ◆ 昭和46年 移動図書館「やまびこ」が巡回を開始
- ◆ 昭和61年3月 テレピアモデル都市の指定を丸子町・東部町・坂城町と受ける。<郵政省>
- ◆ 平成7年8月 上田市マルチメディア情報センターがオープン <通商産業省>
 - デジタルアニメ産業の育成と映像のデジタルアーカイブ(収集)化を推進
 - ◇ デジタル化、データベース化、インターネット配信
 - ◇ コンテンツ不保持、著作権のクリア ... 映像発掘探検隊を構成
- ◆ 平成7年12月 1市3町の公共図書館が参加し、市町村の枠を超えた図書館のネットワークを構築
→ CATV回線を利用
- ◆ 平成9年4月 情報推進課を設置
→ 地域の情報化を推進



初代図書館(現存)





現在の館内




～情報化の推移

- ◆ 平成9年～11年 上田地域社会教育施設情報化・活性化推進事業を委嘱される。<文部省>
 - > モデル小・中学校、公民館、大学図書館とのネットワーク構築
 - > 所蔵資料のデジタル化保存とインターネット公開の実験
- ◆ 平成10年3月 市役所に高速庁内LANを構築し、TV会議を実施 <通商産業省>
- ◆ 平成11年2月 「次世代ハイビジョンミュージアム実証実験」に採択される。 <自治省>
 - > 信濃国分寺資料館収蔵品のデジタル化
- ◆ 平成16年4月 上田情報ライブラリーが駅前ビル「パレオ」4階にオープン
 - > ハイブリッド図書館を目指す
- ◆ 平成18年 上田情報ライブラリーのホームページをリニューアル
 - > 上田情報ビジネス専門学校学生グループの成果
- ◆ 平成21年3月 市内全小・中学校、武石公民館図書室とのネットワークを構築し、均一な環境を整備








情報ライブラリー内




上田図書館デジタルアーカイブ事業

- ◆ 当館の特殊資料「花月(かげつ)文庫」の目録
 - > 1万冊余を買い受ける(昭和26年から)
 - > 江戸庶民文化を知ることのできる書籍の宝庫
 - > 郷土研究の資料としても貴重
 - > 国文学研究資料館がマイクロフィルム撮影を進めた再調査と電子出版 → 全国の研究者や出版社、マスコミからの照会が増加
- ◆ 御当代記(ごとうだいぎ) 戸田茂経(とだもすい)著 ... 江戸時代の歴史資料(モノクロ)
 - > 花月文庫の中でも歴史的価値が高い本物
 - > マイクロフィルムをJPEG方式でデジタル化
 - > 通常の画像の他に高解像度な画像も選択可能
- ◆ 東山道(とうさんどう)信濃国略図(宝暦2年) ... 江戸時代の巨大な絵地図(222.4cm × 135.8cm カラー)
 - > 図書館まつりで展示して好評 ... 市民にもわかるもの
 - > しわを伸ばして4ブロックに分けて撮影し、合成
 - > Flash Pixを用いて、拡大・縮小や移動が可能
 - > 丁寧な仕上がりでカーナビのようにスムーズに閲覧可能
- ◆ ローカル紙「信州民報」の製本とデジタル化
 - > 著作権上オフラインだがキーワードで記事検索が可能







他のデジタルアーカイブ事業


- ◆ 地域に残っている映像(動画)をデジタル化した「地域映像ライブラリー」の構築とVOD(ビデオ・オン・デマンド)配信...信州映画百選
 - > <http://www.umic.ueda.nagano.jp/shuzo/>
- ◆ 文化財や博物館資料のデジタル化、バーチャル化
 - > <http://museum.umic.ueda.nagano.jp/hakubutsukan/index.html>
 - > <http://museum.umic.ueda.nagano.jp/kokubunji/menu.htm>
- ◆ デジタル絵本
 - > 信州大学感性工学科学生と市民のコラボ(協働)
 - > <http://www.umic.ueda.nagano.jp/ehon/>
- ◆ デジタル図書
 - > しめ飾りの作り方 (図書館職員の手作り)
 - > http://www.city.ueda.nagano.jp/toshokan/jlib/11_01.htm
- ◆ デジタル写真集(未完)
 - > きのこの写真集 (図書館職員の手作り)
 - > http://www.city.ueda.nagano.jp/toshokan/jlibnewHP/digibook/kinoko_photo/book.htm



昭和6年頃の映像
上田飛行場 VOD



諏訪の御柱祭



デジタル絵本

デジタルアーカイブ化に伴う課題(悩み)

- ◇ コンテンツ(中身)と著作権処理
 - ◇ 何をデジタル化するかコンテンツの選択眼が必要
 - ◇ 外字の処理
 - ◇ 図書館職員(司書)だけでは困難 ... 上田女子短期大学国文学科の先生方(6人)の協力による。
- ◇ お金と手間
 - ◇ デジタル化には経費(約600万円)や日数(約1年)が必要だった
 - ◇ 絵図の緻を伸ばすのに一週間かかった。
 - ◇ 日常業務や勤務の片手間では無理
- ◇ 資料保存と劣化、廃棄防止の啓発
 - ◇ 館外への持ち出し禁止資料(自筆原本など)
 - ◇ 取扱注意の資料で閲覧の度に資料が痛む。
- ◇ 分担収集から資料の共有化へ
 - ◇ 児童・生徒の調べ学習や市民の生涯学習に役立っている。
 - ◇ 利用の促進を図る ⇔ HPにカウンターを付け忘れた。



7

国の協力・支援のあり方

公共図書館等には

- ☆ (著作権フリーの)コンテンツはあれども
 - ☆ ○○コレクション、△文庫、古書
 - ☆ 酸性紙問題、補修が必要
 - ☆ 実物はその内容より見た目で廃棄される運命? ⇒ TVのなんでも鑑定団のような貴重資料保存の啓発策(所蔵メリットは?)
- ☆ 人がいない
 - ☆ 専門職員の必要性和幅広い人材確保
- ☆ 金がない ⇔ 閲覧に課金できない
 - ☆ 補修・くんじょう費用
 - ☆ デジタルデータ作成(委託)費用
- ☆ 時間がない
 - ☆ 日々の図書館業務
 - ☆ 図書館職員のパート化



8